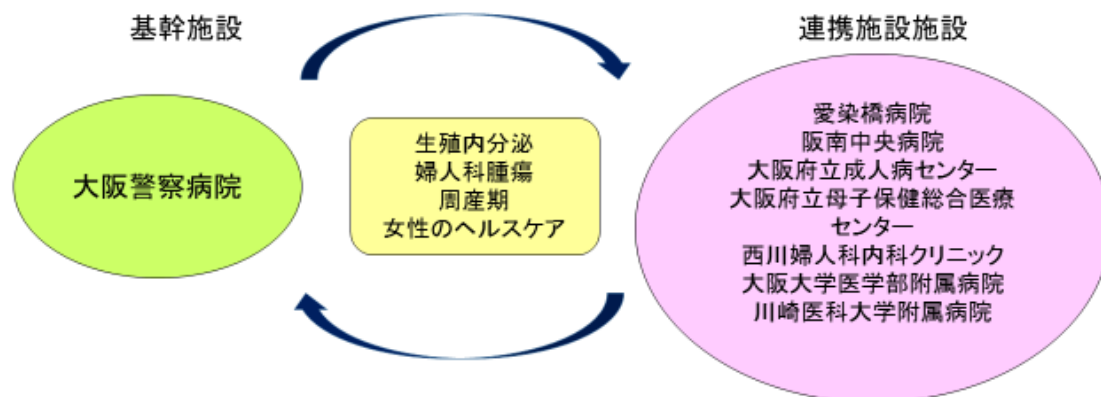


### 資料 3. 大阪警察病院専門研修プログラム例

#### A. 大阪警察病院専門研修プログラムの概要

#### 大阪警察病院専門研修施設群

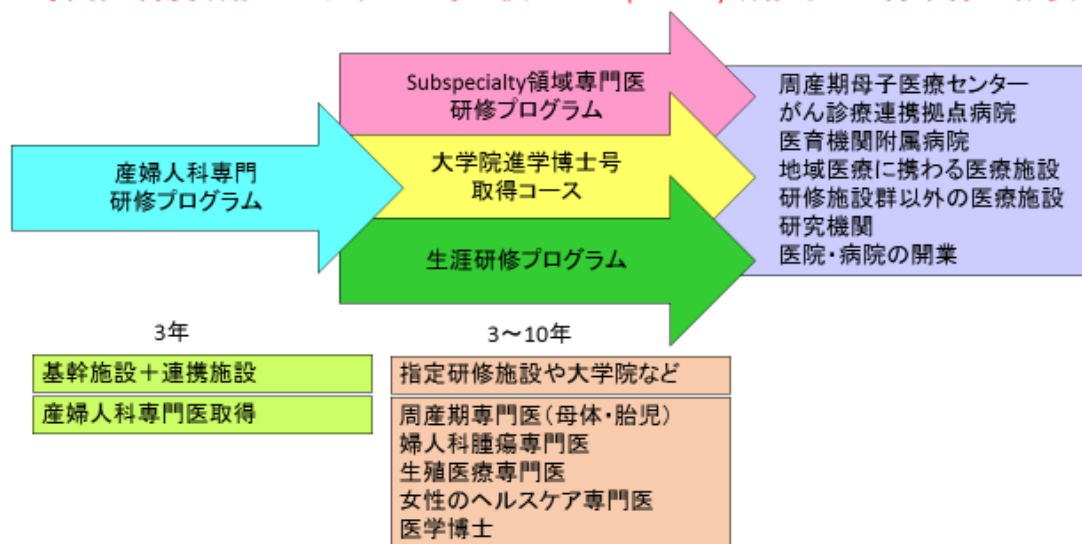


大阪警察病院専門研修プログラムでは大阪警察病院産婦人科を基幹施設とし、連携施設とともに研修施設群を形成して専攻医の指導にあたる。これは地域医療を経験しその特性の習熟を目的とし、高度かつ安定した地域医療の提供に何が必要かを勘案する能力がある専門医の育成に寄与するものである。また、地域中核病院では経験する事が少ない性病、避妊指導、モーニングアフターピルの処方と服薬指導、更年期障害などの習熟にも必要である。施設群全体での医療レベルの向上と均一化を図ることで専攻医に対する高度に均一化された専攻医研修システムの提供を可能とする。連携施設には得意とする産婦人科診療内容があり、基幹施設を中心として連携施設をローテーションする事で生殖医療、婦人科腫瘍（類腫瘍を含む）、周産期、女性のヘルスケアの4領域を万遍なく研修する事が可能となる。

産婦人科専攻医の研修の順序、期間等については、個々の専攻医の希望と研修進捗状況、各施設の状況、地域の医療体制を勘案して、大阪警察病院産婦人科専門研修プログラム管理委員会が決定する。

## B. 大阪警察病院専門研修プログラムの具体例

### 専門医制度研修プログラムとその後のSubspecialty研修などと将来像の概要



産婦人科研修プログラムは、大阪警察病院の3年間の産婦人科後期研修プログラムに相当する。専攻医は3年間で修了要件を満たし、ほとんどは専門医たる技能を修得したと認定されると見込まれる。修了要件を満たしても技能の修得が足りない場合、病気や出産・育児、留学などのため3年間で研修を修了できなかった場合は1年単位で研修期間を延長し、最終的に専門医を名乗るに足る産婦人科医として、修了年の翌年度（通常後期研修の4年目）に産婦人科専門医試験を受検する。専門医を取得して産婦人科研修プログラムの修了と認定する。この4年目は産婦人科専門医取得とその後のサブスペシャリティ研修開始の重要な時期である。

研修は基幹施設である大阪警察病院産婦人科ならびに大阪府・岡山県内の連携施設にて行い1か月～1年ごとのローテートを基本とする。当院においては、産科・婦人科救急、一般周産期、合併症妊娠、婦人科腫瘍（良性・悪性）、手術（開腹・腹腔鏡・子宮鏡）、骨盤臓器脱などを中心に研修する。当院での研修の長所は、大学病院では経験しにくいこれらの疾患を多数経験でき、また他科との連携がスムーズで診療に従事しやすいことである。3年間の研修期間のうち、基本的に1年9ヶ月間は基幹施設で最重症度の患者への最新の標準治療を体験する。

一方、当院外の連携施設においては、地域の総合病院での産婦人科医療を阪南中央病院での研修、体外受精などの高度な生殖補助技術から更年期医療までの生殖内分泌医療を西川婦人科内科クリニックでの研修が可能である。

また、周産期医療を重点的に研修希望する場合は、総合周産期母子医療センターである愛染橋病院もしくは大阪府立母子保健総合医療センターでの研修を選択できる。特に循環器疾患を合併する周産期医療の研修を希望する場合は、国立循環器病研究センターでの研修が可能である。

主に婦人科悪性腫瘍の研修を希望する場合は、大阪府立成人病センターでの研修を選択できる。

大学病院ならではの希少な症例や先端医療、高度救命救急センターを併設し地域の周産期母体救命の砦である大阪大学医学部附属病院、川崎医科大学附属病院での研修も可能である。

#### C. Subspecialty 専門医の取得に向けたプログラムの構築

大阪警察病院産婦人科研修プログラムは専門医取得後に以下の専門医・認定医取得へつながるようなものとする。

- ・日本周産期・新生児医学会 母体・胎児専門医
- ・日本婦人科腫瘍学会 婦人科腫瘍専門医
- ・日本生殖医学会 生殖医療専門医
- ・日本女性医学学会 女性ヘルスケア専門医
- ・日本産科婦人科内視鏡学会 技術認定医

専門医取得後には、「Subspecialty 産婦人科医養成プログラム」として、産婦人科 4 領域の医療技術向上および専門医取得を目指す臨床研修や、リサーチマインドの醸成および医学博士号取得を目指す研究活動も提示する。

#### D. 初期研修プログラム

大阪警察病院産婦人科専門研修プログラム管理委員会は、初期臨床研修医指導センターと協力し、大学卒業後 2 年以内の初期研修医の希望に応じて、将来産婦人科を目指すための初期研修プログラム作成にもかかわる。

# 大阪警察病院専門研修プログラム例

## 1) 基幹施設→地域医療→連携施設研修コース（周産期コース）

### 産科人科専門医療人育成研修プログラムの概要(例1)

基幹施設 1年目	基幹施設→地域医療→連携施設 2年目	連携施設 3年目
<p>大阪警察病院</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○女性のヘルスケア</li> <li>○周産期</li> <li>○婦人科腫瘍</li> <li>○生殖内分泌</li> </ul> <p>産婦人科基礎 正常妊娠・分娩・産褥や正常新生児の管理 合併症妊娠・分娩 婦人科悪性腫瘍の診断・治療 婦人科悪性腫瘍の経験 腹腔鏡検査・手術・手術助手 外来診療(女性のヘルスケア管理を含む) 一般生殖医療</p>	<p>大阪警察病院</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○女性のヘルスケア</li> <li>○周産期</li> <li>○婦人科腫瘍</li> <li>○生殖内分泌</li> </ul> <p>産婦人科基礎 正常妊娠・分娩・産褥や正常新生児の管理 合併症妊娠・分娩 婦人科悪性腫瘍の診断・治療 婦人科悪性腫瘍の経験 腹腔鏡検査・手術 外来診療(女性のヘルスケア管理を含む) 一般生殖医療</p> <p>産婦人科 地域医療の 実践</p> <p>産婦人科 基礎 生殖医療 生殖補助 技術の経験 更年期医療</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域医療</li> <li>○女性のヘルスケア</li> <li>○周産期</li> <li>○生殖内分泌</li> </ul>	<p>資楽橋病院 または 国立循環器病研究センター または 大阪府立母子保健総合医療センター</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○周産期</li> </ul> <p>産婦人科応用 正常妊娠・分娩・産褥や正常新生児の管理 ハイリスク妊娠・分娩 外来診療 一般婦人科診療</p>

### 予定経験症例数

研修終了要件 (一部改正)	大阪警察病院	資楽橋病院	国立 循環器病 研究センター	大阪府立母子 保健総合 医療センター	阪南中央病院	五川婦人科 内科クリニック	経験予定数 (必要終了要件数)
経験分娩(立会い区)	262	392	0	320	213	0	1187(100)
帝王切開執刀	40	50	0	80	30	0	200(30)
帝王切開助手	6	25	0	20	8	0	59(20)
前置胎盤・常位胎盤早期剥離の帝王切開執刀 区・助手	1	5	0	6	1	0	13(5)
子宮内容除去術・子宮内鏡全摘術執刀(稽留 流産を含む)	29	21	0	6	39	60	155(10)
腔式手術(子宮頸部円錐切除術、子宮頸管縫縮 術を含む)執刀	105	8	0	6	13	0	132(10)
子宮付属器摘出・卵巣腫瘍摘出術執刀(開腹・腔 鏡)	79	4	0	0	11	0	94(10)
単純子宮全摘出術執刀	51	0	0	1	9	0	61(10) (開腹手術1例以上を含む)
浸潤部(子宮頸癌・体癌・卵巣癌・外陰癌)手術助 手	28	0	0	0	4	0	30(5)
腹腔鏡下手術執刀・助手	110	5	0	0	6	0	121(15)
不妊症の原因・治療に携わった経験	10	0	0	0	3	600	613(5)
採卵・胚移植の術者・助手あるいは見学者として の参加	0	0	0	0	0	550	550(5)
思春期や更年期以降の女性の産科に対する診 断・治療経験	508	6	0	0	69	251	835(5)
OC・IUP初回処方時の有害事象説明いし説明助 手経験	20	5	0	0	5	10	40(5)

## 2) 基幹施設→地域医療→連携施設研修コース（大学病院コース）

### 産科婦人科専門医療人育成研修プログラムの概要(例2)

基幹施設 1年目	基幹施設→地域医療→連携施設 2年目	連携施設 3年目
大阪警察病院	大阪警察病院 阪南中央病院 西川婦人科内科クリニック	大阪大学医学部附属病院 または 川崎医科大学附属病院
<ul style="list-style-type: none"> <li>○女性のヘルスケア</li> <li>○周産期</li> <li>○婦人科腫瘍</li> <li>○生体内分泌</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○女性のヘルスケア</li> <li>○周産期</li> <li>○婦人科腫瘍</li> <li>○生体内分泌</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○女性のヘルスケア</li> <li>○周産期</li> <li>○婦人科腫瘍</li> <li>○生体内分泌</li> </ul>
<b>産婦人科基礎</b> 正常妊娠・分娩・産褥や正常新生児の管理 合併症妊娠・分娩 婦人科良性腫瘍の診断・治療 婦人科悪性腫瘍の経験 腹腔鏡検査・手術・手術助手 外来診療(女性のヘルスケア管理を含む) 一般生殖医療	<b>産婦人科基礎</b> 正常妊娠・分娩・産褥や正常新生児の管理 合併症妊娠・分娩 婦人科良性腫瘍の診断・治療 婦人科悪性腫瘍の経験 腹腔鏡検査・手術 外来診療(女性のヘルスケア管理を含む) 一般生殖医療	<b>産婦人科応用</b> ハイリスク妊娠・分娩 婦人科良性腫瘍の診断・治療 腹腔鏡検査・手術術者 婦人科悪性腫瘍の経験・手術

### 予定経験症例数

研修終了要件 (一部改訂)	大阪警察病院	大阪大学 医学部附属 病院	川崎医科大学 附属病院	阪南中央病院	西川婦人科 内科クリニック	総計予定数 (必要終了要件数)
経膈分娩(立会い区)	262	61	35	213	0	571(100)
帝王切開執刀	40	15	1	30	0	86(30)
帝王切開助手	6	5	1	8	0	20(20)
前置胎盤・常位胎盤早期剥離の帝王切開術執刀区・助手	1	3	1	1	0	6(5)
子宮内容除去術・子宮内鏡全摘術執刀(着床流産を含む)	29	2	2	39	60	132(10)
腔式手術(子宮頸部円錐切除術、子宮頸管鏡検査を含む)執刀	105	1	6	13	0	125(10)
子宮付属器摘出・卵巣腫瘍摘出術執刀(開腹・腹腔鏡)	79	10	17	11	0	117(10)
単純子宮全摘出術執刀	51	6	6	9	0	72(10) (開腹手術経験以上を含む)
温潤腔(子宮頸癌・体癌・卵巣癌・外陰癌)手術助手	26	20	8	4	0	58(5)
腹腔鏡下手術執刀・助手	110	20	22	6	0	158(15)
不妊症の原因・治療に携わった経験	10	7	4	3	600	624(5)
採卵・胚移植の術者・助手あるいは見学者としての参加	0	0	0	0	550	550(5)
思春期や更年期以降の女性の愁訴に対する診断・治療経験	509	20	47	69	251	896(5)
OO・LEP初回処方時の有害事象説明の経験	20	10	10	5	10	55(5)

### 3) 基幹施設→地域医療→連携施設研修コース（腫瘍コース）

#### 産科婦人科専門医療人育成研修プログラムの概要(例3)

基幹施設 1年目	基幹施設→地域医療→連携施設 2年目	連携施設 3年目
大阪警察病院	大阪警察病院 阪南中央病院 西川婦人科内科クリニック	大阪府立成人病センター
<ul style="list-style-type: none"> <li>○女性のヘルスケア</li> <li>○周産期</li> <li>○婦人科腫瘍</li> <li>○生体内分泌</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○女性のヘルスケア</li> <li>○周産期</li> <li>○婦人科腫瘍</li> <li>○生体内分泌</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生体内分泌</li> </ul>
<b>産婦人科基礎</b> 正常妊娠・分娩・産褥や正常新生児の管理 合併症妊娠・分娩 婦人科良性腫瘍の診断・治療 婦人科悪性腫瘍の経験 腹腔鏡検査・手術・手術助手 外来診療(女性のヘルスケア管理を含む) 一般生殖医療	<b>産婦人科基礎</b> 正常妊娠・分娩・産褥や正常新生児の管理 合併症妊娠・分娩 婦人科良性腫瘍の診断・治療 婦人科悪性腫瘍の経験 腹腔鏡検査・手術・手術助手 外来診療(女性のヘルスケア管理を含む) 一般生殖医療	<b>産婦人科基礎</b> 正常妊娠・分娩・産褥や正常新生児の管理 合併症妊娠・分娩 婦人科良性腫瘍の診断・治療 婦人科悪性腫瘍の経験 腹腔鏡検査・手術・手術助手 外来診療(女性のヘルスケア管理を含む) 一般生殖医療
	産婦人科 地域医療の 実践	<b>産婦人科基礎</b> 正常妊娠・分娩・産褥や正常新生児の管理 合併症妊娠・分娩 婦人科良性腫瘍の診断・治療 婦人科悪性腫瘍の経験 腹腔鏡検査・手術・手術助手 外来診療(女性のヘルスケア管理を含む) 一般生殖医療
		<b>婦人科腫瘍</b> 婦人科悪性腫瘍の経験・手術 腹腔鏡検査・手術・手術助手

#### 予定経験症例数

研修終了要件 (一部改定)	大阪警察病院	大阪府立成人病センター	阪南中央病院	西川婦人科内科クリニック	総計予定数 (必要終了要件数)
経膈分娩(立会い区)	262	0	213	0	475(100)
帝王切開執刀	40	0	30	0	70(30)
帝王切開助手	6	0	8	0	14(20)
前置胎盤・常位胎盤早期剥離の帝王切開所執刀区・助手	1	0	1	0	2(5)
子宮内容除去術・子宮内鏡全摘術執刀(稽留流産を含む)	29	6	38	60	134(10)
腔式手術(子宮頸部円錐切除術、子宮頸管鏡術を含む)執刀	106	30	13	0	149(10)
子宮付腫瘍摘出・卵巣腫瘍摘出術執刀(開腹・腹腔鏡)	79	3	11	0	93(10)
単純子宮全摘出術執刀	51	12	9	0	72(10) (開腹手術5例以上を含む)
淫腫腫(子宮頸癌・体癌・卵巣癌・外陰癌)手術助手	26	45	4	0	75(5)
腹腔鏡下手術執刀・助手	110	12	6	0	128(15)
不妊症の原因・治療に関わった経験	10	0	3	600	613(5)
採卵・胚移植の術者・助手あるいは見学者としての参加	0	0	0	550	550(5)
思春期や更年期以降の女性の肥満に対する診断・治療経験	508	30	69	251	858(5)
OC・LEP初回処方時の有害事象説明(説明)説明助手経験	20	0	5	10	35(5)

#### 4) 大阪警察病院産婦人科初期研修プログラム

1. 大阪警察病院のすべての初期臨床研修医は大阪警察病院産婦人科が主催する学会、研究会、研修セミナー等に参加でき、各種学会発表や論文作成などができる。

必修内科	必修救急	選択必修	選択
------	------	------	----

##### 1年目

4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
必修内科 糖内・消内・呼内・循内)						必修救急 (救命・ER)		選択必修 (外・麻)			産婦人科

##### 2年目

4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
地域 医療	必修救急 (ER)	精神	選択								

2. 産婦人科ベーシックプログラム：全ての初期研修医のためのプログラム。初期臨床研修期間中、1年目の1ヶ月間および2年目の任意の期間の産婦人科研修が可能。全ての医師が身につけるべき産婦人科のプライマリケア技能の研修が可能。また、産婦人科医師を目指す初期研修医については、スムーズに3年目以降の産婦人科専攻医研修に以降できるよう、2年目の選択期間中に重点的に産婦人科および産婦人科と関連の深い科（麻酔科、内科、外科、小児科、泌尿器科等）を選択してローテートすることができる。ただし、2年目の選択研修期間については、研修希望者と当該科部長、研修医指導センター長が相談の上、決定される。